

ほらぶら 月間情報

2022 7月

- : プラザ催しなど
- : ボランティア・市民活動団体催しなど
- ▲ : 市民活動センターで行われる上記団体催し
- : ほらぶら 休業日

日	曜日	催し物	
1	金	高齢者ボランティアポイント説明会	●
2	土	パソコン定期相談	▲
		みきおもちゃ病院	▲
3	日		
4	月	コミュニケーションマージャン体験会	▲
5	火		
6	水		
7	木		
8	金	高齢者ボランティアポイント説明会	●
9	土	育児ファミサポ 救急救命講座	●
10	日	きらきら書道	▲
11	月	BANBAN しゃべろう会	■
12	火		
13	水		
14	木		
15	金	高齢者ボランティアポイント説明会	●
16	土	パソコン定期相談	▲
		みきおもちゃ病院	▲
17	日	観て！みて！人形劇！	▲
18	月	コミュニケーションマージャン体験会	▲
19	火		
20	水	複合施設基本構想（案）説明会	▲
21	木	市民活動センター 休館日	
22	金	高齢者ボランティアポイント説明会	●
		複合施設基本構想（案）説明会	▲
23	土	きょうだいかい ふたつばクローバー	▲
24	日		
25	月	BANBAN しゃべろう会	■
26	火		
27	水		
28	木		
29	金	高齢者ボランティアポイント説明会	●
30	土		
31	日	鉄道模型運転会	▲

協力会員募集中！

育児ファミサポ救急救命講座

三木市育児ファミリーサポートセンターでは、年に数回『救急救命講座』を開催しています。預かり活動中に限らず、いつ・どこで子どもの体調が急変したり、事故に遭遇するかわかりません。大切な命を守るため、ファミサポ会員以外の方でも大切な知識や技術を学ぶことができるよう、公開講座として開催します。

- 日 時：令和4年7月9日④ 9：00～12：00
- 場 所：三木市立市民活動センター
- 内 容：①「心肺蘇生法とAED、応急手当」編（9：00～11：00）
②「ホームケア＜夏＞」編（11：00～12：00）
※プログラムは2本立てですが、どちらか一つの選択受講も可能です
- 申込先：三木市育児ファミリーサポートセンター ☎ 82-2395

観て！みて！人形劇！

画面での映像を観ることが多い子どもたちに、生の人形劇を楽しんでもらいたい！三木市内で活動する2つのグループの公演を開催します。
※新型コロナウイルス感染予防に配慮して開催します。

- 日 時：7月17日④ 10：30～11：30（開場10：15）
- 会 場：三木市立市民活動センター大会議室
- 入場料：無料
- 問合せ先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090

複合施設基本構想（案）説明会

令和8年度に計画されている市民活動センターの廃止、複合施設での機能集約に向けた説明会が開催されます。市民活動センターが活動拠点ではないボランティア・市民活動団体も参加できます。ぜひお越しください！

- 日 時：7月20日④ 13：30～
7月23日④ 10：00～
- 場 所：三木市立市民活動センター大会議室
- 問合せ先：三木市市民生活部市民協働課 ☎ 82-2000
※事前申し込みは不要です。当日直接お越しください。

楽しくTea timeを過ごしませんか？

きょうだいかい ふたつばクローバー

障がいのあるごきょうだいをおもちの方のきょうだいかい。同じようでも一人ひとり思いがちがうから、皆それぞれの気持ちを話しましょう。

- 日 時：7月23日④ 17：00～18：30
奇数月第4土曜日（参加費：100円/人）
- 会 場：三木市立市民活動センター
- 問合せ先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090

マガジン

ボランティア・市民活動者のための活動応援情報

ボランティア・市民活動情報「マガジン」は、ボランティア活動 ホームページ
プラザみきのホームページからでもご覧いただけます QRコード →

(発行)
三木市社会福祉協議会
ボランティア活動プラザみき
〒673-0403
三木市末広 1-6-46
(市民活動センター内)
TEL 0794-83-0090
Fax 0794-82-6666
e-Mail mvsc@miki.or.jp



7

Vol.296
2022.7.1

活動資金の獲得へ！
助成金情報
エントリー（事前申込）受付がはじまります！！
令和4年度 県民ボランティア活動助成
＜受付期間＞ 令和4年7月1日（金）～8月31日（水）
この助成金の申請を希望される団体は、エントリー（事前申込）が必要になりますので、お忘れなくお願いします。

エントリーの条件

今年度から新型コロナウイルス感染症に係る申請条件の緩和がなくなりました
コロナ禍前の条件に戻っていますのでご注意ください

- 令和4年4月1日～令和5年3月31日の間に、**12日以上**の活動を予定していること
(団体のメンバーのみを対象とした練習、学習会や総会・例会・ミーティング・親睦会等は活動日数に含まれないのでご注意ください)
- 助成対象経費が**6万円以上**になる見込みがあること
- ボランティア活動プラザみきに情報把握シートを提出していること
- NPO法人格を持っていないこと
- 団体構成人数が5人以上であること

⇒上記5項目すべてに☑が入れば、あなたの団体もエントリーできます！

新型コロナウイルス感染症に関して「まん延防止等重点措置」以上の要請が兵庫県に発令された場合は、10日以上(事業)実施、5万円以上の対象経費の支出を満たしていれば申請許可となります

助成金額

1 団体あたり上限が3万円の全団体一律同額
※エントリー受理数により助成金を決定しますので、3万円より減額となる可能性があります

受付窓口

ボランティア活動プラザみき (☎83-0090)
よかわステーション (☎72-2940)



ひょうごボランティアプラザ

今年度からひょうごボランティアプラザのHPにて「団体・グループ向けQ&A」が掲載されていますのでご確認ください。不明な点があればお気軽に受付窓口までご相談ください
https://www.hyogo-vplaza.jp/grant_donation/plaza_grant/grant_v.html

空き家になったこのうち、地域のためにどう使う? ～地域の知恵と思いと力をあつめて～

◆ 栗山さんちの利活用プロジェクト

緑が丘の西1丁目に1軒の空き家があります。オーナーは栗山さん。もとはご両親のお家でした。亡くなられた後、障がい者支援施設のグループホームとして活用されていましたが、いま再び空き家となった「栗山さんち」を地域みんなで大切に使うために、利活用プロジェクトが始動しました。

◆ 知恵と思いと力をあつめて、魅力的な拠点「よって亭」へ

ボラ・プラみきの
アクション・レポート
(83)
～市民のチカラ～

このプロジェクトの発端は、「この地域で育ち、家庭をもち、いろんな方に助けってもらって生きてきた。何かお返しできないか」という栗山さんの思いでした。地域のために使いたいから、みんなで一緒に考えてもらいたい、みんなの力をちょっとずつ借りたいと、栗山さんちのご近所さんや身近な地域の方、つながりのある方に声をかけ、6月22日に1回目の「みんなの知恵と思いと力があつまる会」が開かれました。

当日、集まったのは総勢17名。各お部屋を見て回ったあと、ダイニングテーブルを囲んで話し合いが始まりました。オーナーの希望で、決まっているのは栗山さんちを「よって亭」と名付けることだけ。そのため「よって亭がどんな場所になればいいか?」や「自分はこんなことで力になれるよ!」という意見を出し合いました。思った以上に和気あいあいな雰囲気、自由でバラエティに富んだ提案がありました。

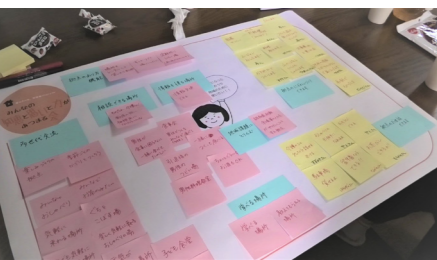
よって亭のテーマは、『誰でも気軽に来れる場所』であることはもちろん、ここに来れば楽しみがあったり、ほっと一息ついたり、元気になれたりすること。いろんな年代の方が利用し、交流できる場にしたいと共有しました。さらに、介護や子育てなどの相談や情報交換ができたり、住民同士で学び合ったり、地域課題に取り組んでみたりと、盛り込みたい要素も語り合いました。料理、うた、ものづくりなど、得意なことを活かして活動を盛り上げるよ～という申し出があったり、特技はないけどお掃除ならできる、おしゃべりの相手ならできるなど、よって亭を快適な場にするための力も集まりそうです。途中からは持ち寄ったおやつをつまみながら、笑顔の絶えない話し合いでしたが、熱冷めやらぬうちに7月上旬までに第2回、第3回の予定が立ちました。

◆ どうせやるなら仲間と一緒に、とことん楽しんで!

地域に存在する拠点をどのように活用するかという問いには、様々な答えが考えられます。行政や企業、事業所が管理・運営する場合がありますが、よって亭のように地域の方々が地域のために活用しようとする場合には、そこに関わる人たちが仲間になり、地域の実情やこれからの姿をあれこれと話し合いながら方向性を決めることが重要です。今回、集まった方々は、それぞれが話すことを自分たち事として捉えることで楽しくなり、その楽しさが拠点での取組の原動力になっていく様子が話し合いで伝わってきました。

全国各地で「小さな拠点」づくりが進められているいま、地域の拠点で人々が関係を築きながらそれぞれの暮らしにふれ、必要な要素を住民自らで考え、取組や活動をおこしていくことが大切です。拠点は、地域づくりの主役である住民の主体性を高めます。よって亭のような拠点づくりが各地で展開されることが期待されます。

小さな拠点とは…? 商店、診療所などの日常生活に不可欠な施設や地域活動を行う場所を集約し、交通ネットワークを確立して周辺集落と結びことで、人々が集い、交流する機会が広がっていく、集落地域の再生を目指す取り組みのこと。



助成金情報

助成金等名称 (申請等期日・期間)	助成内容	問合せ・申込先
令和4年度 長谷川福祉会助成金 〔申込締切〕 7月26日(火) 必着	社会福祉活動に対する助成 〔対象〕 障がい者を対象とした団体・ボランティアグループ等が行う社会福祉活動に対する助成 〔助成額〕 社会福祉活動事業・資材に対する助成1件につき500,000円を限度とする 〔助成の条件〕 ・総購入資金・事業費の15%以上の自己資金の用意が出来ること ・対象事業が交付決定の日から1年以内に行われること ・令和2年度・令和3年度の当会の助成金の交付を受けていないこと	〔問合せ〕 http://www.hasegawafukushikai.jp 〔申込先〕 兵庫県社会福祉協議会 地域福祉部 〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1-1 ☎078-242-4634 (FAX)078-242-0297

一人ひとりの活動が地域の支えに!

三木市社会福祉協議会では、毎年、明るい豊かな地域社会づくりのために永年取り組まれている善行活動者に「みきボランタリー活動記章」を贈呈しています。今年度の記章贈呈者は27名(金章10名、銀章5名、銅章12名)です。受章者の皆様の善行活動に対し感謝するとともに、これからも活動が継続されるよう願っています。

《金章贈呈者》 * 15年以上活動を続けられている方々

- | | | |
|--------|-----------|--------|
| 藤田 隆子 | 柴村 京子 | 魚谷 田鶴子 |
| 舟木 俊彦 | 袖岡 和恵 | 清水 きみ子 |
| 福吉 幸子 | 繁田 由夫 | 横山 三津夫 |
| 鷲尾 みち子 | (順不同、敬称略) | |

＼記章を受章された方のなかから、次回のきらっとさんに出演していただくかも!/?

Vol.3

きらっとさんにインタビュー

三木市には、周りの人を惹きつけ、きらっと輝く活動者さんがたくさんいます。そんな「きらっとさん」に活動のあれこれをお聞きます!

第3回目のきらっとさんは清水ひとみさんです。学校に行きづらい子ども達に自宅を開放し、居場所「S-BASE(エス-ベース)」を運営されています。自身の娘さんの不登校と向き合った経験をもとに、同じように悩んでいる子どもや親の力になりたいと思ったことから活動が始まりました。

S-BASEで過ごす子どもの安心した表情が印象的でした。清水さんが子ども達と関わる上で心がけていることはありますか。

清水: 自分のありのままの姿を見せるようにしています。失敗すれば落ち込むし、ゲームに負けたら全力で悔しがる。大人げなくてもそれが私です。生活の中で自信を無くした子どもに、私の素の姿を見てもらい、「私も私でいいんだ」と思ってもらいたい。あとは、その子の良いところは必ず言葉に出して伝えてますね。

S-BASEにやって来る子どもと、親でも学校の先生でもない清水さんは、どんな関係なのでしょう? 清水: ひと言でいえば「信頼」かな。生活の中で自信を無くした子もいますが、一人ひとりがきっと自分を認めて好きになって、行きたい方向へ一歩を踏み出してくれると信じています。パワーをためて進んでいく子どもと、信じて待つ私、ですね。



セルフヘルプグループやふれあいサロンなど、居場所やつどいは数多くありますが、清水さんは「居場所」をどのように考えていますか?

清水: 単に「開かれた空間」ではないように思います。私はここで子どもたちと関わる以外にも、積極的に家族や学校とやり取りします。一緒にいる時間以外にも気にかけてくれる誰かがいるから「ここに居ていいんだ」と実感できる。それはきっとどんな居場所(集い場)でも同じだと思います。

「入って、誰かの役に立っている時に幸せを感じていると思う」とおっしゃっていた清水さん。今できることを前向きに取り組む姿勢はとて素敵でした。

